

「被爆者の肖像—80年の記憶」展 in 広島

PORTRAITS OF THE HIBAKUSHA 80 YEARS REMEMBERED

芸術の力で、1人でも多くの方に被爆者のメッセージを届けたい— そうした願いから「被爆者の肖像—80年の記憶」展は制作されました。

レンチキュラーと呼ばれる特殊な技法を用いて広島と長崎の被爆者52人を撮影し、明暗の強いコントラストで、立体感のある肖像になっています。一人ひとりの豊かな表情から、「二度と核兵器を使わせてはならない」とのメッセージを感じ取っていただければと思います。



Setsuko Thurlow

©2023 80,000 Voices/Patrick Boyd All Rights Reserved.
Photography by Patrick Boyd

2025年10月31日(金)–11月3日(月・祝)

入場無料

開館時間：10:00–18:00（入館は閉館の30分前まで） ※10月31日(金)は20:00閉館、11月3日(月・祝)は16:00閉館

会場：広島国際会議場 地下2階 ダリア2（広島市中区中島町1–5）

※会議場の駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

共催：パグウォッシュ会議

2025年11月8日(土)–11月24日(月・休)

入場無料

開館時間：10:00–20:00

会場：創価学会 広島池田平和記念会館（広島市東区光町1丁目15–39）

※1階常設展が「希望の未来へ “ヒロシマの心”と青年展～We are Peace Creators!～」としてリニューアルオープン！この機会にぜひ足をお運びください

主催：創価学会インタナショナル 制作：80,000 Voices 撮影：パトリック・ボイド

後援：IPPNW 広島県支部、一般社団法人広島県医師会、広島県原爆被害者団体協議会（箕牧智之理事長）、
中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送

